

## 中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	スポーツ推薦入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

### 【解答・解答例】

私は、地域住民参加型のスポーツ大会を開催することで、以下の 3 点が実現され、スポーツによる地域の活性化を図ることができると思う。

1 点目は、地域住民にとって、スポーツの存在が身近に感じられるようになるということである。スポーツ基本法 2 条 3 項では、人々がその居住する地域においてスポーツを身近に親しむことができるようにすることを求めている。日頃からスポーツに親しんでいる人はもちろん、そうでない人にとっても、自分が居住する地域で住民参加型のスポーツ大会が開催されるということになれば、その情報に接することで、スポーツが身近に存在するものと感じられるようになると思われる。

2 点目は、異なる世代間の交流が生まれるということである。私は、これまで、教員や指導者を除けば、同年代と接することがほとんどであった。しかし、地域住民参加型のスポーツ大会が開催されれば、小中学生、社会人、さらには高齢者とも触れ合うことができる。日頃、会話を交わすことがない世代の方とも、一緒に競技に取り組むことで共通の話題ができ、会話をすることができるようになる。このような人間関係がスポーツ大会終了後も継続することになれば、世代を超えた交流が活発になり、住民相互間の助け合いも生まれると思う。

3 点目は、地域住民の健康が促進されるということである。どのような種目であれ、競技者として参加するためには、日頃から健康を意識して体調を整えておかなければならない。そのためには、ジョギングなどをして体力をつけ、ストレッチをするなどして身体の柔軟性を維持しておく必要がある。足首が固まっていると転倒しやすいし、事前の準備なしに急に身体を動かすと、肉離れなど、筋肉を痛めることにつながりやすい。これに対して、スポーツ大会に備えてジョギングをすれば心肺機能が向上し、メタボリックシンドロームの解消にもつながる。また、ストレッチを毎日継続して行えば、血行が促進されて筋肉がほぐれ、怪我をしにくい身体を作ることができる。ジョギングもストレッチも継続することが難しいが、スポーツ大会への出場という目標が明確に定まると、これらを習慣づけることも容易になる。

以上により、地域住民参加型のスポーツ大会の開催により、地域住民のスポーツへの関心が高まり、大会への参加を通じて地域住民の交流が生まれ、健康が促進されることにより、地域の活性化が実現されると考える。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

スポーツが地域の活性化に果たす役割について、具体例を挙げながら、わかりやすい文章でまとめられているかに着目して採点を行った。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	法学部
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

- ・ 思考力、判断力、表現力主体性、協働性
- ・ 面接での質問に対して適切に回答する能力
- ・ 志望動機や学習意欲についての説明能力

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入学試験
学部（学科/専攻）	経済学部
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

評価にあたっては、競技活動を継続する意思確認（本学体育部に所属し競技を継続すること）と、入学後、競技活動だけでなく勉学に関しても努力する意欲を重視し、その他面接態度等、総合的な観点から評価した。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

学部・試験方式	商学部・スポーツ推薦入学
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

### 【解答・解答例】

- (1) 小中学校教員は OECD 各国の教員の勤務時間平均よりも長く、特に中学校教員の仕事時間は、参加国で最長の 5 5 時間であることがわかる（「中学校教員の仕事時間」の図）。国際平均と比較し、1 5 時間ほど長い。国際平均よりも長い業務の内容は、小中ともに書類作成などの「事務業務」、次いで「学校運営」となっている。更に、中学校教員で突出して勤務時間が長いのは、「課外活動」の業務である。これらの長時間勤務は、諸外国に比べて全人格的な完成を目指すという日本の学校教育の特徴が背景にある。また、「保護者からの過剰な苦情への対応」や「学校行事の準備運営」も勤務時間の延長を助長している。そこで、これらの状況を打開しようと、文部科学省は、学校業務を 3 分類に分けて、業務量の適切な管理に関する指針を改訂した。学校業務の 3 部類は、「学校以外が担う」「教員以外が積極的に参画」、「教員の業務だが、負担を軽減」とするものがある。
- (2) 中学校教員の「課外活動」に関わる業務の改善も検討されている。文科省は、2023 年度から 2025 年度にかけて休日の部活を学校外の「地域クラブ活動」に移すモデル事業を実施しており、2026 年度からは順次、平日の移行も進めるとしている。中学校の課外活動が、地域クラブ活動へと移行することで、中学校教員の勤務時間の改善が見込める。しかし、地域クラブ活動の指導者が、平日・休日も指導することになると、中学校と地域クラブ活動の指導者との密接な連絡と調整を行う新たな枠組みを作ることが必要となるだろう。地域クラブ活動のメリットとしては、指導者だけでなく、地域の人々のサポートも加わることができる可能性がある。そうなれば、生徒と地域の人々とのコミュニケーションが多くなり、地域コミュニティのネットワークがより密になることが期待され、郷土愛の育成にも繋がるだろう。少子化が進む中で、一人ひとりの才能を伸ばす教育は、このように地域で生徒の才能を伸ばし、支える仕組みが新たに加わることは好ましい。また、学校のクラスとは異なる集団に所属することは、生徒の視野やメンタルヘルスに良好な影響を与える可能性もある。デメリットとしては、今まで課外活動の指導はほぼ無償であったが、有償化となるケースも予想され、経済的理由からクラブ活動に参加できない生徒が出てくる可能性は否定できない。これらについては、よく検討されるべきであろう。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

学部・試験方式	商学部 スポーツ推薦入学試験
科目	面接試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

本学商学部への入学を強く志望し、高い学修意欲と明確な目的意識をもって学修に取り組むことが期待できるかを確認する。

アドミッション・ポリシーを踏まえ、学業と競技活動の両立に意欲的に取り組む意思と資質を有する受験者であるかを確認する。また、競技活動を通じて得た学びを踏まえ、商学分野の学修に必要な思考力、主体性、コミュニケーション能力等の基礎的資質について総合的に確認する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

学部・試験方式	基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部 スポーツ推薦入学試験
科目	筆記試験「小論文」

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

### 【解答・解答例】

1.  
省略

2.  
省略

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入学試験
学部（学科/専攻）	基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

アドミッションポリシーにおける評価項目に基づき、面接を通じて「知識獲得力」、「コミュニケーション力」、「組織的行動能力」、「自己実現力」等を総合的に評価します。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

評価にあたっては、スポーツを巡る現代社会の諸問題に対する関心と正確な知識、および自身の経験に基づいた対策を具体的に考えることができるかに焦点をあてる。加えて、それを論理的で、適切な表現で示することができるかなどの観点から評価する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（国文学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

専門分野に対する理解度、論理的な意見の開陳、質問に対する適切な応答の観点から評価する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（英語文学文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

勉学の意思があるか、スポーツと勉学の両立を図るための明確なビジョンと計画性を持っているか等の視点から評価する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（ドイツ語文学文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

中央大学文学部は、公式ウェブサイトで「専攻・プログラムにおいて養成する人材像」を公開している。ドイツ語文学文化専攻がいかなる人材を養成したいかは、次のように記した。

「ドイツ語文学文化専攻では、学術言語としてのドイツ語の力を身に付け、活用しながら、ドイツ語圏の言語・文学・文化・歴史の各分野に関する専門の学びを深めることを教育目標としています。4年間の学びを通して、広範かつ専門的な知識・方法と実践的な経験知を身に付け、グローバルな社会や文化の多様性を理解し国際交流に貢献できる人材を養成します。」

面接試験においては、このような教育を受けてこのような人材になろう、という意欲があるかを評価する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（フランス語文学文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

以下の観点に基づいて、評価を行う。

- 1：高校の推薦内容にふさわしい人物と認められるか。
- 2：知的好奇心を豊かに持ち、大学における学習と競技生活を両立させていこうとする意欲を有しているか。
- 3：フランス語文学文化専攻の特性（特に、語学文学文化コースと美術史・美術館コースという2コース制をとっていること）を十分に理解しているか。
- 4：申請書類や小論文で記述した内容について、口頭でも適切に他者に伝わるような仕方で説明できるか。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（中国言語文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

受験生に対して、どのような大会で実績や成績をあげてきたかを問い、運動上の技能や能力の高さだけでなく、日頃の勉学に対する真剣さと学習意欲の強さなどを評価する。

また、受験生に対して、当専攻で何を学ぶのか、なぜ当専攻で学ぶのか、当専攻での学びが大学での部活動とどのように結び付くのかを問い、受験生が大学生活について明確な目的を持っているかどうか、当専攻のカリキュラムを十分に理解しているかどうかを評価する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（日本史学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

評価にあたっては、スポーツと学業を両立させる強い意志を持っているか、日本史学・日本考古学を学ぶ意欲があるか等の視点から評価する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（東洋史学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

評価にあたっては、質疑に対する応答にもとづき、知識の量や確かさ、論理性、表現の適切性等を評価する。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（西洋史学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

評価にあたっては、なぜ西洋史学を学びたいのか、大学で具体的に何を学びたいのか、現時点までに何をどれくらい準備してきたのか等の質問に際して、適切な受け答えができるかどうか注目します。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（哲学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

学修に対する目的意識、主体性、思考力および人物的適性を適切に評価し、本学部のアドミッション・ポリシーと以下の本専攻が求める評価基準に適合する学生を選抜することを目的とする。

#### ①学修目的および志望動機の妥当性

受験生が本専攻の教育、教育内容を理解したうえで、本専攻を志望するに至った動機と入学後の学修計画が明確で合理的であるかを評価する。

#### ②主体性・多様な経験の活用

高等学校段階までの学習活動、課外活動その他の経験を通じて養われた主体性が、大学における学修にどのように活かされるかについて、明確に説明できているかを評価する。

#### ③思考力・判断力・表現力

哲学を主たる学びとする学生に相応しく、自らの考えを論理的に適切に表現する力を有しているか。また一つのテーマを深く掘り下げた説明ができているかを評価する。

#### ④学修態度および人物的適性

大学における学修を遂行するうえで必要な真摯さ、継続性、他の学生との協働性を備えているかを確認し、本専攻の教育環境に適合する人物であるかを総合的に判断する。また、アスリートとしての自覚とともに、学業との両立が可能であるかを掘り下げて尋ねる。

#### ⑤書類審査との整合性

志望理由書、調査書、活動報告書等の提出書類の内容と面接における発言との整合性を確認し、書類上の評価の客観性および妥当性を確認する。

なお面接は、特定の知識や結論の正誤を問うものではなく、哲学という学問分野に対して、4年間を通じて粘り強く真摯に学ぼうとする姿勢や思考を確認することを主眼とし、複数の教員を面接官として公正かつ多面的・総合的に評価を行う。また受験生の多様な背景に配慮し、不利益が生じないよう適切な質問を行うことに努める。

## 中央大学 2026年度スポーツ推薦入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（社会学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

評価にあたっては、文学部のアドミッション・ポリシーに則って、次の項目を重視している。

高等学校段階までの学習の内容を幅広くかつ十分に理解しているか。（知識・技能）

論理的にものごとを考える基礎力を備えているか。（思考力・判断力・表現力）

言語、文化を学ぶ基礎として日本語と外国語の表現力を備えているか。（思考力・判断力・表現力）

人間と社会に関心を持ち、自ら主体的に学ぼうとする態度と意欲を有しているか。（主体性・協働性）

以上

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（社会情報学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

面接の意図やねらいとしては、本専攻への志望動機を中心としながら、将来の展望や入学後の研究テーマ、それに関して、これまでの生活の中で取り組んできたことや興味関心などを尋ねつつ、これらの点について、自分の考えで主体的に回答できるかどうか、また円滑にコミュニケーションを遂行する力を有しているかどうか、といった点を確認することにある。

また評価のポイントとしては、事前の準備状況や熱意、主体性が重要である。事前準備と言っても、丸暗記してきただけの志望動機を読み上げるだけのような回答は望ましくなく、むしろ本人が主体的に熱意をもって、将来の進路や入学後の研究テーマを考えた上で、いかに本学を選択するに至ったかを説得的に語りうるかどうか、が重要である。さらに、スポーツ推薦の場合は、競技者としての生活時間と、学習時間の両立をどのように果たしていくのか、といった点についての、計画的な展望も求められよう。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦
学部（学科/専攻）	文学部（教育学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

個別面接を実施した。

多様な学生の入学を求める観点に基づき、本専攻への志望動機、大学生活で重点を置きたい学習内容やその他の活動等、卒業後の進路の見通し等に対する応答から、受験生の意欲や適性、資質能力を確認するのが面接の目的である。

やりとりの中で、「教育」に対する問題関心とそれに対する理解、論理的思考力や多角的な視点からの分析能力、プレゼンテーションおよびコミュニケーション能力について、基礎的力量が備わっているかを主要な評価の視点としている。

面接者の質問に対して、的確かつ論理的、具体的に応答できているか、積極的に理解してもらえるように応答しているかなどに着目して評価を行っている。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（心理学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

面接試験は、個人面接として実施し、入学後の学びを具体的にイメージできているか、また、その実施可能性について評価しました。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（学びのパスポートプログラム）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはありません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

スポーツ推薦入試の面接にあたっては、以下の2点を重点的に面接し、評価の対象とした。

- ・受験者がスポーツを行っていくにあたって、何を重視しているのか？

昨今運動部員の不祥事等も報じられる中であって、勝利至上主義や社会におけるスポーツ（選手）の位置付け、責任等について、いかなる考えを持っているかを問うた。

自身の考えをきちんと述べられるか？社会的な規範についての意識を持っているかを評価対象とした。

- ・本学入学に当たり、学業との両立について強い意欲と見識を持っているかを問うた。

文字通り、覚悟があるのか、入学前に十分な学習を高校時代にしてきたのかを評価対象とした。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	スポーツ推薦入試
学部（学科/専攻）	総合政策学部
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

以下の点を評価のポイントとし、提出された競技成績書類や小論文試験を参考にして総合的に判断する。

- ・ 明確な志望理由・目的意識
- ・ 勉学に対する意欲、スポーツ活動との両立の意志
- ・ 社会的関心度
- ・ 積極性、行動力

## 中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

学部・試験方式	総合政策学部・スポーツ推薦入試
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

### 【解答・解答例】

#### 問 1

課題文には3人の関係者の意見が掲載されているが、全員が挙げているのが費用の問題である。指導者への謝礼や場所代を確保するための費用をだれが負担するのが問題となる。生徒らから会費を徴収するところもあるが、保護者からの反発もある。また、親の収入によって部活動に入れない子どもが出てくる恐れもある。国や地方からの補助金額についても議論が必要だが、この時点では国がその問題を自治体に丸投げしており、自治体が具体的なプランを示すのが難しいという。

費用の問題以外では、指導者の質の担保や、事故が起きた場合の責任の所在の問題など、指導者側、運営側に関係する問題も指摘されている。指導者の質の向上には資格制度が必要であり、国による統一的な資格制度を整えるべきだという意見が述べられている。

#### 問 2

私は中学校と高校で部活動に打ち込んできた経験から、部活動の地域移行には良い面と不安な面の両方があると思う。

まず、地域の指導者が増え、専門的トレーニングを受けられる環境が整う点は大きなメリットだ。中学校時代は指導者が一人しかいなかったため技術の細部まで見てもらえず、高校で専門コーチに教わって、もっと早くこうした環境があればと思った。競技経験のある大人や大学生が指導に関われば、部活動に取り組む生徒の可能性は広がるだろう。

一方で、指導者不足や活動場所の確保、運営費などが曖昧なまま地域移行が進むことには不安もある。スポーツは安定した環境があってこそ成長できる。自分は中学校時代に体育館が使えず何週間も練習できない時期があり、意欲が落ちた経験がある。こうした問題が今の生徒に起きれば、競技への意欲や技術習得に悪影響が出るだろう。

また、家庭の経済状況によって活動機会に差が出る仕組みになってしまうのも避けるべきだ。私は部活動を続けられたが、費用負担の問題で部活動を諦めた友人もいた。地域移行が進むほど、負担の在り方には丁寧な議論が必要だと感じる。

何より指導者の質は極めて重要である。私は過度に厳しい指導で競技が嫌いになりかけたことがある。指導者は常に生徒に寄り添い、スポーツの楽しさを伝える存在であってほしい。最終的に、地域移行は整備が進めば大きなプラスになるが、財政基盤や質の高い指導者の確保があってこそ意味のある制度になると考えている。